

## 令和6年度指導教諭による「授業力アップ講座」⑨

今号では、12月26日に行われた授業力アップ講座(特別支援教育)を紹介します。

12月26日(木) 一関市立南小学校  
特別支援学級 自立活動「みんなで体を動かそう」  
授業者 佐藤 貴子 先生

### 👉 佐藤先生の授業から学ぶ 自立活動のポイント!

- ◆個々の実態や課題に即した活動を設定すること。
  - ・個々の実態や活動の状況を適切に見取ること。
  - ・個々の目標の達成に向けて、主体的に学習に取り組めるように内容や指導を工夫すること。

### 参加者の声(一部抜粋)

- ・明るい声かけ、信じて待つという姿勢に救われる子どもがいたと思いました。
- ・能力差がある子どもたちが共に学ぶ時のヒントがたくさんあり、学びの多い研修でした。
- ・学習パターンは、子どもが見通しをもてる安心感や課題に向き合う時間の確保につながることがわかりました。

### 提案授業

授業動画の視聴を通して研修を行いました。個々の実態に即した目標の位置付けを明確にし、関わり合いやコミュニケーション、ルールの理解、運動能力等の向上を目指して行われた授業でした。

「たくさん体を動かす」、「ルールを守る」、「みんなで協力する」等、わかりやすい目標が提示され、安心できる小集団の中で、児童が自ら目標や見通しをもち、時間いっぱい体を動かす姿が見られました。



短く具体的な指示や称賛、自己選択の場面設定など、児童が主体的に目標に向かうための工夫がなされ、できたことを先生や友達と一緒に喜びながら楽しく活動する授業でした。

### 研究協議

佐藤先生から、児童が自分の気持ちを表出できるよう安心できる教師の姿勢や空間づくりを大切にしているとの話がありました。また、個々の課題に即した活動とそれに合わせた言葉かけや、決まったパターンの中で活動のバリエーションを増やしていくことについて話題になりました。

協議の中で話された「子どもを信じて待つ」という佐藤先生の言葉がとても印象的でした。

## 令和6年度指導教諭による「授業力アップ講座」を終えて

今年度も管内で活躍されている9名の指導教諭の先生方に、すばらしい授業提案及び講義を実施していただきました。のべ53名の先生方に参加をいただき、充実した研修会となりました。

改めて今年度の「授業力アップ講座」から学んだ大切なポイントについてまとめましたので、先生方それぞれの今年度の授業実践を振り返ってみましょう。

- ①子どもの「〇〇したい」を大切に授業づくりをすること。
- ②習得した「知識及び技能」を活用し、「思考力・判断力・表現力等」を高めるための時間をしっかりと単元の中に設定すること。
- ③教師の説明を短くし、子どもへの問いかけを多くすることで、主体的な学びにつながる。
- ④「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、ICTを積極的に活用すること。

どの講座においても生き生きとした表情で授業に集中して取り組んでいる子どもたちの姿と、日々の実践を振り返りながら、常に授業づくりにチャレンジし続ける指導教諭の先生方の姿が大変印象的でした。「授業力」の大切さについて学ぶ機会となりました。